

会 議 録

会議の名称	第13回西東京市男女平等参画推進委員会会議録
開催日時	平成15年4月7日 7時から9時まで
開催場所	西東京市民会館 第5会議室
出席者	(委員)堀口委員、神島委員、赤石委員、石井委員、今城委員、栗原委員、 角田委員、高橋委員、西山委員、中村委員 (欠席者)加藤委員、岩西委員、名古屋委員、淵脇委員 (事務局)佐藤主幹、岩田係長、菅沼主事、インテージ2名
議 題	・委嘱 ・議事録の確認 ・ワーキングの進め方・活動計画 ・各ワーキングに分かれての打ち合わせ
会議資料	女性センター検討小委員会運営要綱 ワーキングの作業イメージ共有化のために 課題整理シート(記入例)
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
発言者名	発 言 内 容
委員長	第13回西東京市男女平等参画推進委員会の会議をはじめます。 まず、事務局からの連絡。
事務局	4月1日、教育庶務課から異動してきた、佐藤です。三芳は生活文化課に異動。事務局の紹介。岩田係長、菅沼主事。 多摩小平保健所の佐藤委員が異動になり、後任者の栗原委員に市長より委嘱状が届いている。よろしく申し上げます。 女性センター検討小委員会運営要領について。前回、三芳から話しがあつたと思うが、市として協議の結果、このような内容で考えている。みなさんの承認が得られれば、市報などに掲載し公募を行いたい。
委員長	議事録の確認を。特にないようであれば、次の議題に入る。 本日から加わっていただく委員もいらっしゃるの、各委員自己紹介をお願いしたい。
委員	市民の枠で入っている、富士町に住んでいる神島です。よろしく申し上げます。
委員	ふえみんという新聞の仕事をしている、赤石です。南町に住んでいます。よろしく申し上げます。
委員	関係団体ということで、東京都国分寺労政事務所の今城です。よろしく申し上げます。
委員	佐藤の後任で参った多摩小平保健所の栗原です。いろいろ勉強しながらと思います。よろしく申し上げます。
委員	東京女子大学の教員をしている、中村です。学識経験者として参加している。よろしく申し上げます。
委員	市民として参加している、高橋です。よろしく申し上げます。
委員	市民として参加している、角田です。よろしく申し上げます。
委員	西山です。学識経験者の枠で参加している。女性問題の研究活動をしている。職業は住宅コンサルタント。
委員長	委員長の堀口です。 資料13-1について。前回、話したように、これからワーキング作業を始めていく。4月、5月は忙しくなると思う。 「ワーキングの作業イメージ共有化のために」ということで、6つ書かれて

	いる。これとスケジュールを見て、ご意見をいただきたい。
委員長	<p>だいたい目をとおされたと思うので、「ワーキングの作業イメージ共有化のために」という趣旨について、合意をとりたい。</p> <p>について。7月末までに素案をまとめるという期限については、みなさんご承知だと思う。 に関してはこれでよろしいか。</p> <p>についてはいかがか。</p>
委員	「アイデア」というのはひっかかる。私たちの出すのは、計画の素案をつくるための意見であり、「アイデア」というのは消してほしい。
委員長	<p>事務局はよろしいか。では、「アイデア」を削る。</p> <p>他によろしいか。</p> <p>についてはいかがか。</p> <p>ご意見が出ないようなので、 について。よろしいか。</p> <p>下線部分は特に確認いただきたい。後ほどグループ分けを行い、責任者を決める。グループワーク活動記録は、前回配ったもの。</p> <p>資料 13 - 2「課題整理シート」と「活動記録」との違いについて。「課題整理シート」は、計画に反映させるべきことを記入していただく。「活動記録」は、グループの中でどんな話が出たか、次回までの宿題など、欠席された方もこれを見れば分かるような記録として作成していただきたい。何回グループワークを開くかもお任せする。2つのシートに記入していくことになり、負担も増えると思われるが、よろしいか。</p> <p>ワーキングのまとめは5月19日までという期限がある。タイトなスケジュールの中でみなさんにいろいろやっていただかないといけない。</p> <p>がこれからのスケジュールとあわせて重要な問題になってくると思う。</p> <p>よろしいか。</p>
委員	ということではないが、聞き取り調査などをしたいと思うと、具体的にどうすればいいのか。
事務局	グループから要望をあげていただければ、事務局で関係機関と調整をする。聞き取り調査も可能だが、相手のあることで、こちらの要望どおり行なえるかは、その都度協議をさせていただきたい。
委員	日程的には、聞き取り調査をしたければ、5月19日までにとということか。少し、日程をずらすことはできないのか。5月末までとか。
事務局	<p>素案を、どのテーマからつくっていくかにもよるが、みなさんから出していたいただいたものをみて、組み合わせをしようということだったので、そろわないと、組み合わせを立てられないことになる。</p> <p>ただ、ヒアリング等、補完するような内容は、その点がないと全くできないということでもない。その点は残して、他の部分を出していただくということも可能かと思われる。できるだけ5月19日をめざしてやっていただきたい。</p>
委員	について。計画なので、庁内各課の意向が重要だと思う。男女平等推進に関する庁内のプロジェクトがあると思うが、そこは別途たたき台を考えているのか。または、委員会が出すたたき台を基に検討するのか。庁内会議と委員会が両輪になってすすめていくことが重要だと思う。
事務局	男女平等参画行動計画推進委員会設置要綱をつくり、昨年までは部長職ですすめてきたが、今年度から、女性を含めて役職をとっばらい、委員会を立ち上げる。作業部会などを含めて、関心のある方10名ほどですすめていく。たたき台については、庁内で別途検討する。6月ごろに委員会のたたき台との整合性をとっていく。

事務局	これから会議が立ち上がっていくので、どれぐらいの頻度でできるか、詰めていくところ。委員会でワーキングを行なっている間に、まずは、庁内各課で、どのような事業を行なっていくかの洗い出し作業を行なう。素案の検討については、同じ資料を平行して、両方の会議で話していくようなことを想定している。
委員	この委員会のスタート時に説明いただいたものと、プロジェクトの性格が、少し違ったイメージ。職員の方も参画してつくると感じるのか。庁内からも各課で洗い出されたものができて、委員会からでたものと整合性をつけるということか。
事務局	そうだ。
委員	について。「箇条書きとして書かためていく」ということだが、5月19日までに、そんなに体系的になっていないか。体系的になっていては困るのか。適宜ということか。
委員	事務局は、ある程度細かい体系図をもっているのか。前回大雑把なものがあったが、何も無いところから、1からやっていくのか。ある程度体系があるのなら、それを出していただきたいほうが、効率的ではないか。
事務局	今までの議論の中で、みなさんから、まず体系ではなく、課題を積み上げていった中で、体系を考えたほうが良いという意見であった。体系をつくるということであれば、つくるが、そういう枠をはめずに、自由に議論をしていきたいというご意向だったと理解している。今の時点でこちらでの作成はしていない。
委員	予定では2回ということ。役割分担をきちんとし、シートをつくらないといけない。具体的な取り組みは、各事業課で何ができるのかを押えないと、空想的なものになってしまう。市の各所管と調整をしていく必要がある。
委員長	庁内各課で何をできるか。期限をきって検討してもらった方がいいかもしれない。
事務局	庁内でできることを集めただけでは、今あるものを組み立て直すだけになってしまう。それに縛られないで、こういう取り組みが必要だというものを、自由に出していただきたい。庁内での事業課題とのつき合わせをしながら、調整をしていく形で素案はできていくと思う。庁内の取り組みについては、だいたいどんなことがされているかの資料はあるが、今あるものに縛られずに、自由に意見を出していただきたい。
委員	具体的な取り組みということと、行政と一緒につくるのであれば、今すぐできること、何年後かをめどにすること、将来的にということ、これらの区別をしてつくっていく。今すぐできなくても、目標としてやってほしいことをなるべく入れていったほうが良いと思う。
事務局	課題シートにそういったことを加味していただければ。
委員長	計画は5年後に見直す。今すぐできること、5年後の見直しに向けてやること、将来の三段階で分けて出てくればよりよい。
委員	実際にワーキングを行なうとき、みなさん集まれなくて、個別にとったとき、自分が割り当てられたところが、きちんとできるか心配がある。以前、保谷や田無で出たものを参考にやっていくのか。事務局からもアドバイスをいただきたい。
委員長	にあるように、要請があれば、事務局はワーキングに出席する。また、個別分担での作業で、いろいろ聞きたいというときには、事務局の助けを借りることも可能。事務局もお忙しいので、事前に連絡をいただければ、よりや

	りやすかもしれない。その辺りも取り組んでみないとわからない。各グループの自己責任のようになってくるかもしれないので大変だと思うが、スケジュールが決まっているので、承知いただきたい。
委員	大変だと思う。今回は希望だけで、実際のグループはまだ決まってない。以前のグループ分けを考えると、各グループにその道に詳しい人が一人いらっしやると、まとめるのにいいと思う。希望だけでなく、その辺をうまく調整していただきたい。不安になっている者同士かたまっても、まとまらないのではないか。
委員長	趣旨やスケジュールの確認が終わったら、グループ分けを行なう。
委員	なぜ、作業のことを「ワーキング」とカタカナでいうのか。杉並区はカタカナ言葉はやめようと公式に決めた。行政の中でそういう考え方がある。 の「ワーキングの作業にあたって」や、タイトルの「ワーキングの作業イメージ共有化のために」というのが、気になる人もいる。 ワーキングをやるというのは、専門家が概論的なことを言うのではなく、市民や生活している人の目の高さから見て、気が付くところを吸い上げようとしていると解釈している。市民の方も気後れしないでよい。
委員	スケジュールに関してはわかった。課題整理に関して、どのくらいのボリュームになるのか。どのくらいの作業になるのか、どの程度グループで叩いていくのか。
委員長	に書かれているように、気付いたことを、どんどん自由に書いていただきたい。委員によってもボリュームが違おうだろう。テーマによっても、具体的に細かく書き込まれるところと、細かくできにくいところとあると思う。各委員や各グループで話し合うなかで、臨機応変に考えていただきたい。
委員	市で施策を独自でつくる分野と、そうでない分野では内容量も違おうと思う。市で独自でできる、子育て支援などに関しては、いま、市の中でどんなことをやられて、西東京市に合併になってから、どういう基本方針でやっていくのかというところをみながら、ということだと思う。 保育園のことで言えば、全体的な流れもあるが、公設民営というようなことが言われてきているが、本当に保育がそれでいいのか、というところから考えないといけない部分もある。実際に行なわれているところで、0歳児の受け入れをどうしているのか。定員を増やさないで、どうして子どもたちをたくさん入れることができるのか。具体的に市の施策でやっているところでは、細かいところまで問題点が出てくると思う。
委員長	みなさんに意見をお伺いした。資料 13-1 の趣旨の説明と年間スケジュールの説明を終わる。 作業のグループ分けを行なう。前回希望を聞いたものが、第 12 回会議録にでている。3つのグループに分けるということで、Aが「教育・生涯学習・家庭」。特に男女での子育てを含む。Bが「就労・子育て・介護支援・社会参加」。Cが、「性と人権」。健康、セクハラ、ドメスティックバイオレンスを含む。女性の問題が中心になるかもしれない。 A「教育・生涯学習・家庭」について。今日、欠席の方が多いが。
委員	事務局から就労の人数が多いので、移って差し支えない方がいればということで A に移ることにした。今日、一人しかいないので、少し心細いかと思う。
事務局	前回、角田委員より、AかCどちらかという意見だった。Cが専門家の方ばかりになっていたのも、是非公募参加の市民の方にどこのグループにも入っていただきたいという考えのもと、事務局でCにさせていただいた。よろし

	いか。
委員	はい。
委員長	この問題こそ、市民の方の意見を生かしていきただきたい。 B「就労・子育て・介護支援・社会参加」について。人数が一番多い。
委員	人数の問題なら、私は教員をやっているので、Aでもよい。
委員長	A教育・生涯学習・家庭 加藤、田口、名古屋、西山、中村 B就労・子育て・介護支援・社会参加 神島、赤石、岩西、高橋、今城 C性と人権 堀口、淵脇、栗原、角田、石井 以上のようにグループが決まった。 Aについては、バックラッシュの問題も予想されるので、男性委員が多いと、説得力のある計画になるのではないかと。 5月19日までに、どのようなスケジュールで取りまとめられるか。集まる日や、集まらない場合は、個別分担で作業を行なうなど、各グループの責任のもとにすすめていただきたい。 事務局でサポートは行なう。集まる場所は2階の部屋が使えるが、各グループで、集まりやすい場所に集まっていただいてもかまわない。 これから1時間、各グループに分かれてすすめていただく。 連絡責任者の方を1名決めていただくことと、連絡網の確認をお願いします。
	～グループ別に話し合い～
委員長	各グループで連絡責任者の方の報告と、内容を簡単に報告をお願いします。
Aグループ	連絡責任者 西山 教育・生涯学習・家庭に関わる問題を、カード化して書き出していく作業を行なった。そこから具体的な、望ましい方向や、行政の取り組みにつなげていければと思っている。 カードはリスト化して、欠席者にもまわし、欠席者からも意見を出していただいて、集約していく。事務局に、連絡や郵送の作業をお願いすることになると思う。
Bグループ	連絡責任者 神島 連絡については、ファックス、メール等で行なう。 具体的なすすめかたについて。それぞれが各分野についての課題整理シートに書き込み、4月27日集まって、何が問題点かということを確認して、整理していく。27日は午後、時間をとって、たっぴりつめていく。その時点で、どこまでまとまるか分からないが、5月8日までにもう一度集まる必要があるかもしれない。
Cグループ	連絡責任者 角田 各委員への連絡は、メールを主体に行なう。 本日欠席の方の意向を伺って、17日か21日に、この会館で夜に会合をもちたい。それまでに、各自、性と人権についての自分なりの問題意識を課題整理シートに記入して、事務局にFAX等で送り、それをもとに会合をすすめる。
委員長	各グループの進行状況は決まりつつあるようだ。よろしくをお願いします。 次回は5月8日。それまでに、各グループの作業をすすめていただきたい。 本日はありがとうございました。終わります。

